

IoTプラットフォーム

CONNEXIVE Platform

あらゆるモノを"つなげる"、あらゆるモノが"つながる"世界の創造を、CONNEXIVE Platformが支えます

拡張性と信頼性を両立し、短期間かつ効率的なシステム構築を実現するIoTプラットフォーム

IoT プラットフォーム CONNEXIVE Platform



■豊富な導入実績

製造業、流通、運送業、農業やエネルギーなど、国内外の様々な業種のIoTサービスで採用いただいている。また、数十から数百万超のデバイスまで、様々な規模のシステムに柔軟に対応することができます。

■高い柔軟性と開発効率

デバイスからの情報の「収集」「蓄積」「加工」を柔軟に行える標準部品を用意しており、これらの部品を組み合わせることで様々な要件に応じたIoTサービスを実現できます。

例えば、データの抽出やグラフ表示などが行えるサンプルアプリケーションを利用して、集めたデータをすぐに活用することができます。カスタマイズする場合も、必要な機能のみの開発に専念できます。

■様々なデバイス/周辺システムとの接続

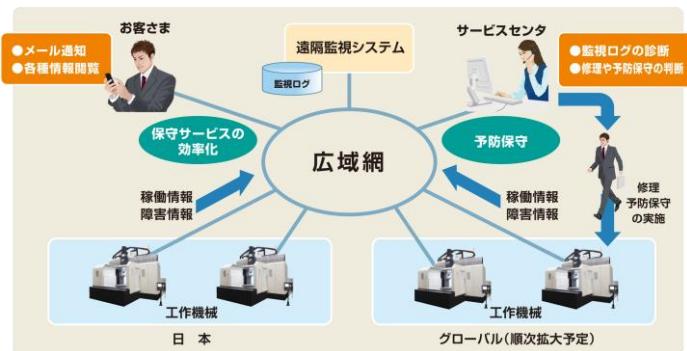
HTTP接続ライブラリを介して、様々なデバイスとの接続が可能です。ネットワーク接続機器の遠隔管理プロトコルであるTR-069もサポートしています。



導入事例1 IoTサービスを軸に産業機械の予防保全でビジネスを拡大

■導入の背景

- 産業機械分野でグローバル競争が加速する中、他社にない付加価値の高い新サービスを実現したいと考えていた
- 障害通知などを受けてからの事後保守が主体であり、対応の迅速化が課題となっていた
- 消耗品販売メーカーとの競争激化によって、保守部品に関する売上が低迷していた



■選定のポイント

- CONNEXIVEの採用により、初期投資負担の低減が可能

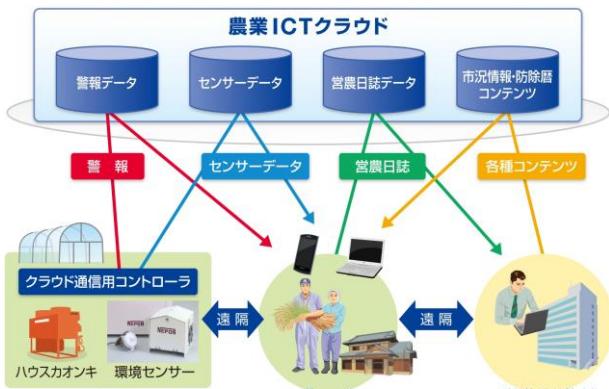
■導入の効果

- お客様の強みを活かした予防保守で独自のビジネスモデルを構築し、顧客設備の稼働率が向上
- 遠隔地から障害発生時の状況把握と対処が可能になり、障害対応の迅速化とコストを削減
- 収集されたデータの分析から、顧客設備の稼働状況が把握可能になり、保守部品や消耗品の販売機会損失を削減

導入事例2 遠隔監視・灌水制御で農作業の省力化とノウハウの共有を実現

■導入の背景

- 人気商品の品質を維持するためには、実際にハウスに出向き、きめ細かな灌水制御を行う必要があった。
- 温度や湿度に加え、灌水実績などを手作業で正確に記録することに手間がかっていた
- 勘や経験に頼った栽培では品質や収量にばらつきが出るため、安定した品質と収量が見込める栽培法の確立を目指していた



■選定のポイント

- 専用端末を必要とせず、PCやスマートフォンから灌水の頻度・量を容易に制御可能
- クラウド型のサービス提供で、資産を持たずとも迅速かつ低コストに利用可能
- 農用機器分野で日本を代表するネポン株式会社とNECが共同開発したサービスのため、安心して利用できる

■導入の効果

- 品質のばらつきがなくなり、味の面で出荷できないトマトが1つもなくなった
- クラウドにデータを自動記録・蓄積することで記録作業を省力化し、生育状況の確認や作物の世話により多くの時間を割けるようになった
- 灌水実績データ+センシングデータの複合分析で傾向を把握し、感覚でしか伝えることのできなかったノウハウを数値化できた。

NEC クラウドプラットフォーム事業部(ソフトウェアお問い合わせ)

販売店

MAIL : info@connexive.jp.nec.com

受付時間 : 9:00~12:00 13:00~17:00

月曜日~金曜日(祝日・NEC所定の休日を除く)

URL : <http://jpn.nec.com/solution/m2m/>